

映画が血となり肉となり

～楽しみながら人生を学んだ～



まつもと ゆみこ
松本侑壬子氏

映画評論家/ジャーナリスト

第18回 11月8日(木)

13:00～14:30
@津田塾大学特別教室

＜プロフィール＞

鳥取県生まれ。1962年津田塾大卒。1968～99年共同通信社記者。2000～2009年十文字学園女子大教授。映画を通してジェンダーや家族問題を考えるエッセイ、評論、講演などでも活躍。著書は「銀幕のハーストリー～映画に生きた女たち」「シネマ女性学」「映画を作った女たち～女性監督の100年」「母娘（おやこ）の風景」（以上単著）。また「女性監督映画の全貌」など共著多数。

＜担当スタッフから＞

「映画は社会変化とともに移り変わる。その時その時の社会を反映する。」これは、今回の講演者である松本様のお言葉です。「私たちが普段娯楽として見ている映画には、実は多くのメッセージが込められており、力強く何かを主張しているのだ」とおっしゃる松本様の講演を通して、映画に娯楽以上の意味を見出すことができるのではないのでしょうか。また、松本様は、中学の頃から映画に興味を持ち、ご自身の興味を軸とした人生を貫かれています。本講演で私たちは、人生を楽しく生きるヒントを見つけられると思います。